

斷枝片葉(其六十)

等ニモアリ、樟科ニ屬シ、樹皮ヲ削レバ香氣アリテ、クロモジ又シロモジノ類ニ同ジ、幹枝暗緑ズイナノキノ色ニ似タリ、二月新葉ニ先ツテ花ヲ着クソノ梗勾リテ下垂シ、枝上ニ攢簇ス、他ノ樟科ニ比スレバ、稍觀ルベキガ如シ、白苞四片アリ、六瓣モ亦白ク、九雄藥黃葯、一雌藥ニシテ蜜槽六アリ、又雌本アリ、圓實ヲ結ブ味辛シ」デアル、此樹ハ落葉木デ九州ニ産スレドモ四國中國方面ニハ之レヲ見ナイ、此圖中ニアル竹齋ハ加藤竹齋ト云フ畫工ノ號デ明治初年ノ頃ニ小石川植物園ニ雇ハレ草木ヲ寫生シテキタ人デアルガ今ハ疾クニ故人トナツタ(同氏ノ著書ニ『丹青秘錄』ト題スル一冊ノ書ガアル、即チ繪事ヲ説イタ小冊子デ明治十七年三月ニ東京デ出版シタモノデアル)、右圖傍ノアヲモジ等ノ字ハ圭介先生ノ筆蹟デアル

●くさとべら

小笠原島ニ

産スル本品ヘ始メテくさとべらノ名ヲ下シタノハ賀來飛霞ト云フ九州豊後出身デ東京ニ出デ小石川植物園ニ明治初期ニ奉職シテキタ植物學者デアル、其記文ト圖トガ前條ニ記セル『錦集翁叢書』品物之部一ニ載ツテキルノデ今參考ノ爲メ此ニ抄出シ其當時ヲ偲ブ事ニスル、「くさとべら」新名 草犀科 小笠原島ニ自生スル灌木類ノ常綠品ナリ該島ニテソノ高サ五六尺枝葉互生シ葉ハ枝頂ニ攢簇シ柄無ク形倒卵圓稍々長ク滑澤ニシテ厚シ秋月葉腋ニ花梗ヲ抽キ小梗ヲ分チ白花ヲ着ク萼ハ五裂披針狀ニシテ瓣亦五裂鋸緣ヲナシ一邊ニ並列シ形半邊蓮花ノ如クソノ本ハ筒様ニシテ五雄藥アリソノ筒ノ裂口ヨリ一雌藥勾リテ露出ス後實ヲ結ブ卵圓ソノ頂ニ萼ヲ殘セリ」是ニ由テ之レヲ觀レバ此くさとべらノ和名ハ賀來飛霞氏ニ依テ始メテ命ゼラレタモデアル事ガ知ラル、

○正誤

●第二號

- 第一ノ口繪下段
(45)頁、一行、
(45)頁、一行、
(75)頁、六行、
(75)頁、六行、
(79)頁、五行、
(99)頁、十一行、
(102)頁、九行、
- Baton
其前述ノ其ヲ削ル
ほうぶら
Malayalaun
FRANCH. トラバ
FRANCH. 廣ハ廣

●第三號

(153)頁、八行、正月裏ニハ正月ニ裏

●第六號

表紙、目錄、
(251b)
植物採集行進曲ニの歌ヲ加フ
植物採集行進曲ニの歌ヲ加フ
植物採集行進曲ニの歌ヲ加フ
植物採集行進曲ニの歌ヲ加フ